

# お わ り に

地球工学研究所長 研究参事 当麻 純一



「巻頭言」で述べられた、原子力発電や中間貯蔵の必要性が、当所の重点課題研究「リサイクル原子燃料等の貯蔵の技術開発」の背景となっている。その中で、コンクリートキャスク貯蔵に関する研究成果を本レビューにまとめた。コンクリートキャスク貯蔵は米国等で実用化しているが、沿岸立地し、地震が多いなど、わが国固有の事情により、そのままでは、実用化できない。これを踏まえた研究成果を、コンクリートキャスク貯蔵技術 経済的な中間貯蔵技術実用化への挑戦 と、銘打って、まとめた。

本研究には、当所がこれまで実施してきた金属キャスクの輸送・貯蔵技術に関する研究に、コンクリート工学という土木工学的センスが必要とされた。これは、私どもが得意とする分野であり、地球工学研究所が中核となり、原子力技術研究所、材料科学研究所、社会経済研究所などの専門的知力を結集したプロジェクト体制が生まれ、当所の総合力が発揮された。また、実際の使用済燃料を用いた試験研究などでは、海外研究機関との共同研究を通して、所要のデータを取得した。

本研究に対する社会からの期待に応えるために、国や電気事業との密接な連携の下、本研究は推進・実施された。本成果が、わが国におけるコンクリートキャスク貯蔵の実用化のお役に立つことを切望している。今後とも、皆様方のご指導・ご鞭撻をお願いしたい。